

お茶会だより 5月号

H30.5.18(金)

「お茶会、楽しみ!」「どんなお菓子かな!?!」と、お茶会の日を楽しみに指折り数えている子ども達です。

床の間



梅ヶ軸 ~ 「兜」 お花 ~ 「ボタン」 香合 ~ 「堆朱」

お菓子 ~ 「練切、こいのぼり」

第2回のお茶会には6名のお客様が来てくれましたがその中でも一際目とびいたのは、小さなかわいいお客様。東由利にあるみどり保育園の年長児2名です。園長先生、担任の先生と一緒に参加してくれました。初めのお茶会、沢山のお友達に緊張、ドキドキがこちらにまで伝わってくるようになっていたが、そう組の子ども達の様子を見ながら上手に手を動かしていました。最後には「楽しかったです」と感想もお話してくれました。

子ども達はこの初めての箸やよじのお作法に真剣に取り組んでいます。飲み込みが早く、植田先生からも「上手だね」とほめていたにき嬉しそうです。立ち振る舞いを自分で意識しようとする姿がみられ、とても頑張っているのが換装、言葉は少し元気がないかな? 自信を持って言えるように繰り返し練習し身に付けていきたいと思っております。

懐紙ってなあに? ... 小ぶりの和紙で、お茶会ではお菓子を取る時にお皿の役目として使用する紙です。

☆ 次回は茶花、茶室に飾る季節の花を生けるお稽古をします。



【今月の床の間】

《掛け軸》～ 兜 ^{かぶと}

《香合》～ 堆朱 ^{ついしゆ}

《茶花》～ ぼたん

《茶菓子》～ 練切 ^{ねりきり}～ こいのぼり



この兜はちぎり絵で作られています

こいのぼりが泳いでいるようですね



今日はみどり保育園（東由利）から年長ひまわり組の男の子2人と担任の高原先生、畑山園長先生が参加してくれました。また、三浦一枝さん、大井弘子さんの2名も来てくれ、みんなで一緒にお稽古のスタートです。



お菓子をどうぞ

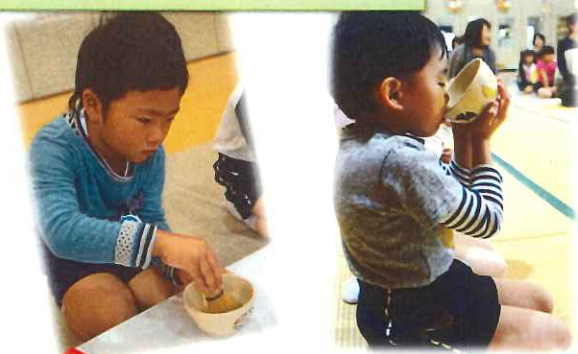


お菓子を取った箸は、懐紙の端で拭き取ります

植田先生が、お菓子をいただく際のようにの持ち方、使い方を丁寧に教えてくれました。できるかな？

おいしい！

お友だちが点ててくれたお茶をいただきます



楽しかったです

植田先生の言葉に真剣に耳を傾けながらお稽古に参加した子ども達。ひまわり組のお友だちからは『楽しかった』との感想をもらいました！次回のお茶会では、どんなことをお稽古するのか？